

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和元年5月28日(火) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和元年5月28日(火) 午後2時29分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 飯 野 眞 幸

教育長職務
代 理 者 乾 宏 行

委 員 竹 内 一 普

委 員 清 水 久 美

委 員 塚 田 展 子

事 務 局 (説明員)

教育部長 小 見 幸 雄

学校教育担当部長 熊 井 正 裕

教育総務課長 植 原 政 美

社会教育課長 土 谷 真由美

文化財保護課長 角 田 眞 也

中央公民館長 小 峰 好 恵

中央図書館次長 秋 山 美和子

教職員課長 大 澤 克 教

学校教育課長 佐 藤 明 彦

健康教育課長 山 崎 幹 夫

教育センター所長 永 井 智 幸

高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子

書記 教育総務課 高 橋 慎太郎

5月28日	会議に附した事件
議案第12号	令和元年度高崎市一般会計補正予算（6月議会提出分）教育費見積書の提出について
報告連絡事項	第7回高崎学検定及び第6回高崎学検定解説ブックについて
	選挙に伴う高崎駅市民サービスセンター図書コーナーの業務内容の変更について

高崎市教育委員会 5月定例会会議録

教育長（飯野眞幸）

それでは、これより高崎市教育委員会 5月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、清水委員と塚田委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第12号「令和元年度高崎市一般会計補正予算（6月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（植原 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長（飯野眞幸）

ただいま事務局より秘密会の申し入れがございましたので、秘密会による審議とさせていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、傍聴の方は、大変申し訳ございませんが、席を外していただけたらと思います。

（秘密会）

教育長（飯野眞幸）

続きまして、報告連絡事項に移りたいと思います。

「第7回高崎学検定及び第6回高崎学検定解説ブックについて」の説明を、お願いいたします。

（土谷 社会教育課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

ただ今、説明が終わりましたが、ご質問等ございますでしょうか。

今回が7回目ということで、第6回の解説ブックが同時に配布されましたけれど、この冊子の2ページに、第6回高崎学検定受験者の感想というのが出ていまして、4点ほど感想が述べられています。

それは、「四者択一方式でしたけれども、やはり、まぐれ当たりはないなと思いました」、「市民でありながら、なんと知らないことばかりなのかと思いました」、「歴史

事項が多く、個人的には面白かったが、鉋の種類は全く分からなかったが、ネットで調べて奥の深さを感じた」、「問題のレベルが高く、知らないことばかりだった、次はもっと点数を採れるよう頑張りたい」と、そのような意見がございまして、高崎学検定も非常に定着してきたと感じます。

作問にあたってのご苦勞は、毎回ある訳ですが、これからも是非、充実したものを作っていただきたいと思いますと思っております。

高崎学検定のご質問等は、よろしいですか。

(「なし」との声あり。)

教育長（飯野眞幸）

では、続きまして「選挙に伴う高崎駅市民サービスセンター図書コーナーの業務内容の変更について」の説明をお願いいたします。

(秋山 中央図書館次長 説明)

教育長（飯野眞幸）

ただ今説明ありましたが、ご質問等ございますでしょうか。

(「なし」との声あり。)

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

次に、委員の皆様からこの際、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

委員（竹内一普）

皆さんもご存知だと思いますが、今日の早朝、川崎市でいたたまれない事件が起き、大きく報道されていますが、本市、あるいは教育委員会でも、何か対策をとられているかお尋ねしたいと思います。

健康教育課長（山崎幹夫）

本市におきましては、本日付で、「幼児、児童、生徒の安全確保について」ということで、教育長名で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、全てに連絡させていただいている状況でございます。

内容につきましては、大きく項目だけお話させていただきますが、「登下校の安全確保」、「登校後の安全確保」、そして「保護者に具体的にどのような依頼をしたら良いかの内容」、「地域との連携、協力について」、「その他」として、細かな情報提供等について、校園長宛に通知し、より安全確保に向けた取組について連絡しました。

併せまして、防犯・青少年課とも協力いたしまして、高崎警察署に本日の下校より、パトロールを強化していただくよう午前中に連絡し、子どもたちの安全を守るように、横の繋がりも大切にしながら取り組んでいるところでございます。

委員（竹内一普）

対処を迅速にさせていただいて、有り難いと思います。このようなニュースを聞いて、例えば、家庭の中で保護者がどのように説明するのかということを考えますし、子ども心のケアも必要なのではないかなと感じています。そういった点の対策も用意してい

ただくと有り難いと思いますが、いかがでしょうか。

健康教育課長（山崎幹夫）

先ほどの説明の、「保護者への依頼事項」という中に、下校後の子どもの状況を、是非、把握してくださいと記載しております。

竹内委員さんのご指摘のように、おそらく子どもは、家に帰ってから耳にする場合が多いと思います。学校では、先生の口頭からの話のみで、細かい情報は入らない状況であるため、家に帰ってからそのニュースを映像で見て、ショックを受けると思います。そのような子どもの状況を、保護者としてまず把握をしていただいて、そこで困ったことがあれば、学級担任か学校へ連絡していただき、そのような中で連携を取りながら、子どもの心をケアし、安全な教育を進めていきたいと思っております。

委員（竹内一普）

ありがとうございます。

今回の事件は無差別なので、防止のしようがないのではないかと感じています。しかし、地域や学校、家庭で、しっかりと話し合いを持つことが、まずは大事ではないかと思えます。引き続き、よろしく願いいたします。

教育長（飯野眞幸）

先程、竹内委員さんのほうから、心のケアというお話しが出ましたが、塚田委員さん、専門の立場から、心のケアの部分について、何か留意することはございますか。

委員（塚田展子）

今回の事件に関しては、大学病院で、事件に遭った子どもたちに対して精神科的なケアをすると、先程発表がありました。ただ、それを目撃している子どもがたくさんいたり、実際は見えていないけれど、血溜りなどが映像で流れてしまっていますので、そういうもので非常にショックを受ける可能性がありますので、やはり、近隣の学校の中では、おそらくスクールカウンセラー等により、学校の先生や保護者を含めた特別な心のケアが行われると思います。

群馬県の場合には、何かあった時は、即、カウンセラーを補充したりするのではないのかと思われます。

教育長（飯野眞幸）

まだニュースでつかんだ状況だけですが、今、塚田委員さんがおっしゃったように、その事故の場面に遭遇した子どもたち、そして、映像によって影響を受ける子どもたちに対する心のケアは非常に大切なことかと思っております。

このところ、交通事故による犠牲者などが大きく報道されていましたが、今回の事件も、やはり防ぎようがない問題であります。そういった中でも家庭との連携は、非常に大事な事だと思っております。清水委員さん、家庭との連携ということでは、いかがでしょうか。

委員（清水久美）

今のお話の中でも、横の連携ということで、高崎市のPTA連合会や保護者とも連携

を取っていただいているようですが、ただお願いするのではなく、高崎市ではこのようなことをするので、PTAの方ではこのようなことをお願いしますというように、ある程度、具体的なことを出していただきながら連携が取れたらいいのではないかと思います。

また、無差別になってしまうと、本当に防ぎようがないですが、命は大切なもので、守らなくてはいけないものなので、改めて学校や家庭で、命の大切さについて、子どもときちんと話し合う必要性が出てきたのかなと思いました。

教育長（飯野眞幸）

ありがとうございました。

佐藤学校教育課長、その辺はいかがですか。

学校教育課長（佐藤明彦）

自分の身は自分で守るということで、各学校で安全教育として進めているところです。不審者等の対応についても、以前から学校の方で周知しているかと思います。少し前に発生した幼稚園の園外保育での交通事故も、防ぎようのない事故ではありますが、それでも、市内の幼稚園は、事前に下見等をして、十分に安全確認をしています。そういった事件が起きたときに、それを教訓に、各学校やわれわれ教育委員会も、今後の対応について、しっかり考えて行くことが重要だと思っております。

教育長（飯野眞幸）

今日起りました、本当に痛ましい事件について、意見交換をさせていただきましたけれども、高崎市において、このような問題が起こらないよう、学校や家庭、あるいは関係機関と協力しながら、安全確保に務めていきたいと思っております。

その他に、皆さんのほうから、何かございますでしょうか。

委員（竹内一普）

今との関連ですが、例えば、本市で今日のような事件が起った場合のシミュレーションによる対策をする体制や訓練はあるのでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

類似の事件を想定したシミュレーションは、なかなか難しい部分もあると思います。

委員（竹内一普）

対策本部のようなものが、できるのでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

危機管理という側面から言いますと、子どもや教職員に生命に関わる重大事態が起きたときには、ひとつの対策本部を作って、校長や園長の指示の元に、組織的に動くというようなひとつの流れはできているんですね。ただ、場面場面において、どのようなことが起こるかというのを想定することは非常に難しいところでもあると思います。

このところ、地震も各地で頻発していますから、危機管理として、地震の対応等については、昨日、南小学校で児童の引渡し訓練等も実施されているところでもあります。

健康教育課長、補足する点が何かありますか。

健康教育課長（山崎幹夫）

教育長がお話されましたように、各学校には、このように動くということが全てマニュアル化されております。今のお話のように、それを、南小学校の例もありましたが、4月に新しく変わったメンバーで確認をしながら、実感しながら練習を積み、実際に動くことで、不備や足りない部分が分かりますので、そういった訓練を、機会を捉えて実施することで、今回のような痛ましい事件、事故につきましても、同じ考えで本市でも対応することができればと考えております。

委員（竹内一普）

ありがとうございます。

中央小学校で以前、侵入者の事件がありましたが、あの事件については、結果的に対応が良かったと思います。今の時代は、油断できないと、今日も改めて感じました。

教育長（飯野眞幸）

ありがとうございました。その他にいかがでしょうか。

委員（塚田展子）

それに関連して、最近、刃物事件が増えていると思います。池田小学校事件を思い起させるような、学校内に不審者が入って来たりするなどもありますし、今回の場合も、明らかに弱いものを狙って行った事件だと思われます。以前は、学校を閉門していた時期がありますが、現在はどのようになっているのでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

今、お話がありました池田小学校事件は、もう20年近く前の出来事ですが、たくさんのお子さんや教職員が犠牲になった事件でした。

学校の校門の管理という部分については、各学校の対応はどのようなものか説明をお願いします。

健康教育課長（山崎幹夫）

校門の管理につきましては、常に施錠をするという状況になっております。また、施錠されている状況について、防犯カメラを各学校2台、高崎市で設置してございまして、常にモニターをして録画を更新して、防犯体制を徹底しています。

私共も学校を訪問する際には、必ず門扉は閉まっておりますので、それを開けて、入ったら閉めておりますし、業者さんにもお願いをして、徹底しているところです。

教育長（飯野眞幸）

私も、今日、学校訪問をしてまいりましたが、やはり校門はきちんと閉められていて、監視カメラも作動している状況でした。

高等学校と義務教育小中学校との大きな違いですが、高等学校は1階の上がったところに事務室があって、そこで入ってくる人が確認できる学校がほとんどなんですね。ところが、小中学校につきましては、2階に校長室になっていて、監視カメラはありますが、

そこに行くまでの間のチェック体制が難しいというものもあります。

最近、小学校でも1階に職員室があつて、どなたが来ても見られるというような学校も増えてまいりましたが、比較的年代が古い学校は、職員がいるのが2階という形になってしまって、防犯対策上の課題はあるのかなと思います。門扉を開けて、玄関までは自由に入ることができますから、その間に動こうと思えばどこにでも行けてしまう形になってしまふのではないかと思います。

他にいかがでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

今日は、若干暑さが和らいだ感もありますが、このところ熱中症でたくさんの人たちが搬送されています。

教育長職務代理者であります乾委員は、お医者さんですので、その辺のことをお話しいただけますか。

教育長職務代理者（乾宏行）

テレビでも言われていますように、暑さに体がまだ慣れていませんので、非常にしんどいと思いますが、適度に汗をかくということも大事なので、暑いからと言ってクーラーの中ばかりしないで、表に出る事も必要です。

また、最近思うのですが、特に幼稚園くらいの子どもに、熱中症を心配するあまり、気持ち悪くて吐いているところに、無理やり飲ませてしまうことがありました。

確かに水分を採ることは大事ですが、無理して飲ませることはないし、一度に飲まないで、少しずつ採ることが大事だと思います。

教育長（飯野眞幸）

ありがとうございました。その他にいかがでしょうか。

委員（清水久美）

先日、退官された校長先生から、上野三碑のとても大きなパッチワークのような紙芝居を見てきたというお話を伺いました。最近、上野三碑も下火になってきているような感じもしてきましたが、せつかなので、そういう機会もまだまだあると思いますので、これからも頑張っていたきたいと思いました。

教育長（飯野眞幸）

ありがとうございます。

たぶん、作者が吉井町在住の方だと思いますが、本当にいいストーリーで、各学校へ行ってお話していただけるので、その輪を広げて行きたいと思っています。

ありがとうございました。

その他いかがでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

今回、傍聴の方がせつかくお見えですが、議案が1件で、その議案も議会との関係で秘密会にせざるをえなかったのが、大変申し訳なく思います。

以上で、5月の定例会を終わりにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょ

うか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

では、以上をもちまして、教育委員会5月定例会を閉会させていただきます。
本日は大変ご苦勞様でした。